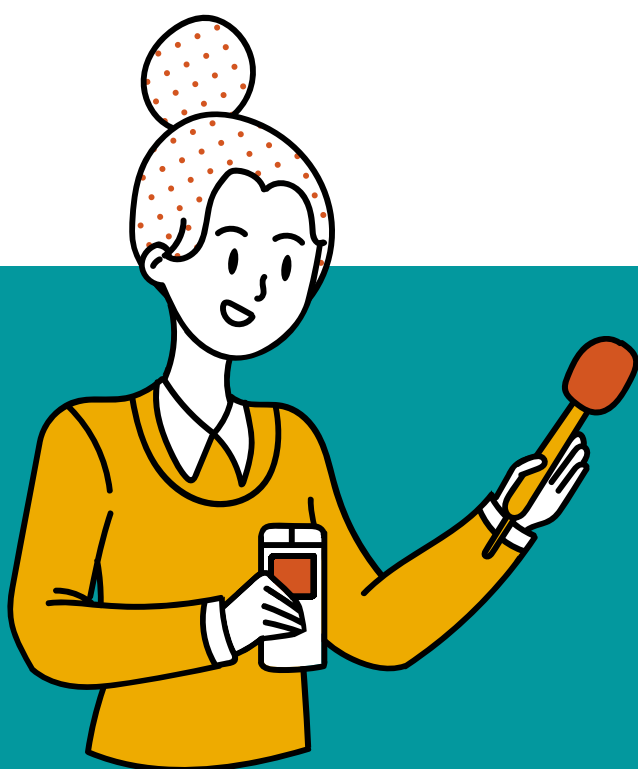


令和4年度 静岡県主催  
社内高度AI人材育成講座

# 卒業生インタビュー





## プロフィール

石野直さん

プライムアースEVエナジー株式会社

経営戦略室 DX企画推進G

## 業務内容

製品検査システムの開発

社内業務効率化推進

pythonに関する社内教育



PBL演習で使用したサンプルです。



PBL演習では、サンプルの異常を検出するシステムを作ります。

# 実際の環境で試行錯誤する貴重な機会

## 講座を受けて成長したと感じる点は何ですか？

講座を受ける前、業務で機械学習を使った予測モデルは使っていたのですが、AIモデルには触れていませんでした。

講座を終えるころには講座テキストとネットで調べた資料を参考にしながら、AIモデルを実装できるようになったので成長を感じています。また、後半のPBL演習でAI開発の流れを一通り経験できたのが自分にとってプラスになったと思います。PBL演習で得た経験とノウハウをもって実際の社内プロジェクトに臨めるというのは自分にとって大きな成長です。

## 講座中で苦労したことは何ですか？

PBL演習中、学習データではとてもいい精度なのに、新しく撮影した画像では精度が悪いというトラブルがありました。調べてみると撮影日ごとに明るさが微妙に違うことがわかりました。こんなちょっとした差でモデルはうまく動かなくなるのかと驚きました。撮影条件がばらつかないように撮影環境を整えたり、微妙なばらつきを含めた学習データを使うなどの工夫がAIモデルの学習には重要でした。

ただデータをあたえるだけでなく人がきちんとお膳立てすることで、AIモデルは最大限のパフォーマンスを発揮するもののだと感じました。

## 講座の率直な感想を教えてください。

PBL演習で、データ収集から判定プログラムの実装まで一連の流れを経験できたのが講座で一番の良いところだと思います。異常判定の構想をあれこれ考えて実際に導入してみる、というのは他の研修ではそう簡単にできることではありません。またPBL演習を通して社外の方ともお話ししたのですが、考え方や仕事の進め方が全然違っていい刺激になりました。

## どんな人にこの講座を受けてほしいですか？

AIをどうやって使うかっていうイメージがついていない方は講座を受けるといいと思います。私は講座前にはAIって何なのかいまいちわかっていなかったのですが、講座を通じてAIについての理解が深まり、AIを活用する具体的なイメージを思い描けるようになれました。

## AIへの注目度を実感した講座でした

### 講座を受けて成長したと感じる点は何ですか？

実際にモデルが組めたり、AIのできることでできないことがわかるようになりました。  
知識がついてきたので、今自社が抱えている問題に対してどんな手法がマッチしているか、AIでなくてもどんな解決策があるか、というのを考えられるようになりました。  
考えたことを実際にやっていって、業務に役立てられたらと思います。

### 講座中で苦労したことは何ですか？

自分はあまりプログラミングに触ってこなかったので、Pythonの文法を覚えるところが大変でした。それで周りの人より遅れているんじゃないか・・・と思って不安になりました。  
PBL演習では、グループ内で撮影環境構築を担当しました。撮影や設備の構築についていろいろ学ぶことはできたのですがモデルについてはガッツリ触れられなかったので、そこはこれから勉強していかなきゃなと思います。

### 講座の率直な感想を教えてください。

社会人が半年間もの間講座を受講して勉強するっていうのはめったにないことだと思います。それが講座には現場の方、管理の方、社長さんまで幅広い方がこぞって参加されていて、AIへの期待度の高さを感じました。  
他の会社の方と話す機会もなかなかないので、いい経験になりました。PBL演習ではチームメイト各々の得意不得意がはっきりしていたので、役割分担をきっちり分けて成果物を持ち寄るような形で進めていきました。自分の役割にしっかり責任を持ちながらチームで連携、という形で良いチームプレーの経験ができました。

### どんな人にこの講座を受けてほしいですか？

Pythonにある程度触れていてAIに興味がある方には特におすすめの講座だと思います。全くの初心者からでも一通りの知識を身に着けることができたので、AI興味があって仕事で使ってみたいと思っている方は受けてみるのが良いと思います。

### プロフィール

佐藤辰磨さん

株式会社望月プレス工業所

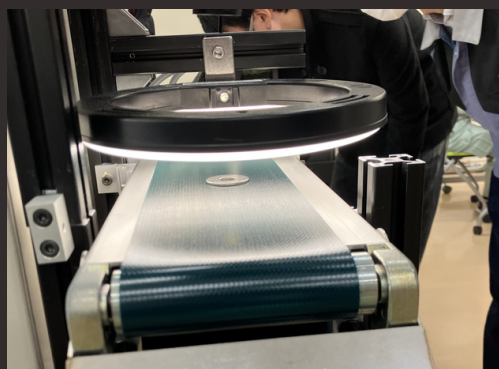
品質保証部

### 業務内容

製品の寸法測定

品質に対する問い合わせ対応

ISO関連業務



綺麗にサンプルが撮影できる撮影条件を探していただきます。



最終発表の様子。  
各班の工夫点を発表します。



## プロフィール

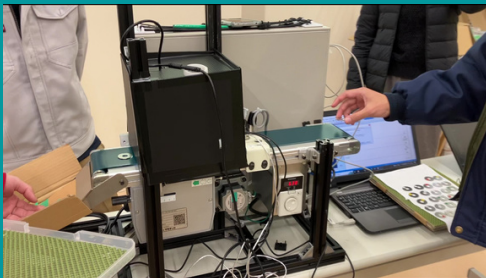
小山怜真さん

株式会社 朋電舎

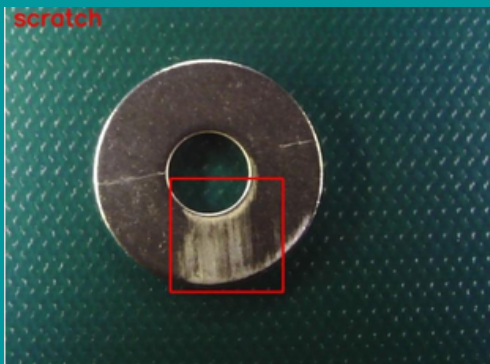
SE事業部

## 業務内容

工場向け監視制御システムの開発



PBL演習で使う、実際の工場を模したベルトコンベアとPLCです。



小山さん班モデルの判定画面。  
異常な箇所が検出されています。

# いろんな人がAIを知っているほうが良い

## 講座を受けて成長したと感じる点は何ですか？

グループで作業を進めていくスキルが伸びました。  
いままでは仕事の進め方は社内の標準があってそれに沿って仕事をしていました。今回はPBL演習で社外の人と一緒に開発したため、標準のないところから検査システムを作っていました。チームでどうやって作業を進めていこうかな？と考えるスキルが伸びたと思います。  
また、AIに得意不得意があることがわかったので、社内でAIを推進する際にここにAIを入れましょう、でもここは入れない方がいいです！という牽引役になれるんじゃないかなと感じています。

## 講座中で苦労したことは何ですか？

講座が始まってからとくに苦労したのはモデルを作ることです。モデルにパラメーターがいくつかあるのですが、どのパラメータをどう変えるべきなのかというのがとても難しかったです。AIを自社製品に組み込むにあたり、なぜAIでうまく判定できるのかを説明するのは重要と考えます。というのも理屈がよくわからないものを取り入れようと普通は思わないからです。そういった部分まで説明できるようにこれからも勉強していきたいなと思います。

## 講座の率直な感想を教えてください。

講師やメンターなど、サポートしてくれる人がたくさんいたのでPBL演習中に詰まったことを気軽に質問できたのがとてもよかったです。  
社外の人とも話せて、いい交流の場にもなりました。

## どんな人にこの講座を受けてほしいですか？

これからの会社を引っ張っていく若手が受けてもいいんですけど、まさに今会社を引っ張っている立場の方にも講座を受けてほしいです。  
というのもやはり上の方にAIを実装する現場について知っていただくことで、会社全体としてAIを進めていく推進力が断然違ってくるのかなと思うからです。  
現場とはちがう上の方の方がAIについて学ばれたときに、AIの使い方についてどう判断されるかも気になります。



# 良いモデルには良いデータが必要と知りました

## 講座を受けて成長したと感じる点は何ですか？

プログラミングは全くの初心者だったのですが、講座が終わるころにはpythonを使ってAIモデルを組めるまでに成長できました。

プログラミングって難しいイメージを持っていたのですが、講座を通してイメージが変わりました。ネット上に学習資料やサンプルコードがたくさん公開されていて、初心者でもプログラムを動かせるような環境が整備されていました。講座を通して自分でもプログラミングができるってわかって、成長したなと感じます。

## 講座中で苦労したことは何ですか？

座学についていくのが大変でした。座学部分にボリュームがあり、1回聞いただけでは理解ができないので、テキストを見返したり課題をといたりして一生懸命復習をしました。それを仕事と一緒に毎週続けていくのがほんとうに大変でした。

特にモデルのパラメータ決めが難しかったです。パラメータを変えても変化があまりなかったり、むしろ悪くなってしまうこともありとても苦戦しました。

## 講座の率直な感想を教えてください。

AI開発というとモデルを調整して・・・というイメージがあったのですが、実際にPBL演習で開発をやってみて、使えるきれいな画像を撮影することがいかに大事かということが良くわかりました。モデルを工夫するより、よりきれいな画像を作るほうが断然良い精度になりました。

私のチームはモデル開発が得意なメンバーはあまりいなかったのですが、各々が得意な部分を持ち寄ってうまく進めていくことができました。

チームでうまく役割分担しながら進めていくっていうことも勉強できたんじゃないかなと思います。

## どんな人にこの講座を受けてほしいですか？

自分で実装するしないに関わらず、AIに関わろう！という人は受講するのが良いと思います。普通に生きてるとまずAIって何かというのがわからないと思います。AIはこうやって実装できるぞ、こういう特徴があるぞっていうのがわかるのがこの講座の強みなんじゃないかなと思います。



## プロフィール

太田章介さん

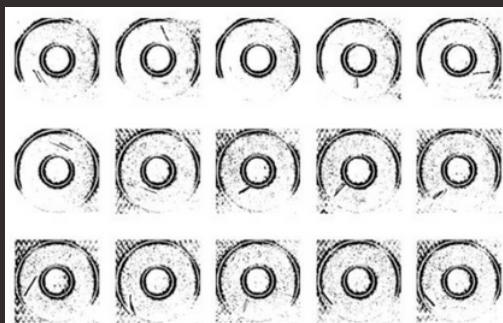
オーアイ・イノベーション株式会社

総務部・経営企画室

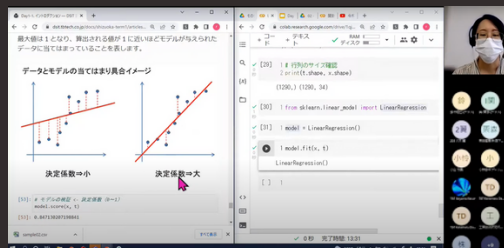
## 業務内容

社内の技術関連の手続

技術開発関連の情報収集



画像処理を施したサンプルです。  
表面の傷が強調されています。



オンライン形式の講座にて、  
AIの基礎を学んでいただきます。